

# 洛和会音羽病院 内科研修プログラム

ジェネラルマインドを持ち、鑑別診断に強い新内科専門医を目指すあなたへ！

洛和会音羽病院 総合内科・感染症科 部長 神谷 亨

当院は京都市の東に位置する病床数 548 床の急性期教育病院です。2017 年から始まる新内科専門医研修プログラムでは、3 ヶ月ごとに内科系専門診療科をローテートしながらも、内科医の土台となるジェネラルな考え方、鑑別診断の力を継続してトレーニングできるように工夫を凝らしています。興味のある方は当院に是非見学にいらしてください。

## 特 徴

- ・3年間を通じて、「酒見先生回診」、「昼の症例カンファレンス」、「総合内科コアレクチャー」、「GIM カンファレンス」に参加することにより、内科医の土台となるジェネラルな考え方、鑑別診断の力をトレーニングします。
- ・新内科専門医研修に必要な症例を経験できるように3ヶ月毎に内科系専門診療科をローテートします。
- ・総合内科（×2回）、消化器内科、心臓内科、呼吸器内科、神経内科、腎臓内科・リウマチ科を3ヶ月ずつ、ER2ヶ月+ICU1か月、洛和会丸太町病院、京丹後市立久美浜病院を3ヶ月ずつ、残りの6ヵ月を自由選択とします。
- ・「総合内科」ローテート中は、診断困難な内科疾患や多臓器疾患を担当し、鑑別診断を鍛えます。また、同期間中に感染症、内分泌、血液疾患の症例も経験します。
- ・関連病院での研修として洛和会丸太町病院で3ヶ月間研修します（鑑別診断の強化）。
- ・地域医療研修として京都府北部にある京丹後市立久美浜病院内科で3ヶ月間研修します。
- ・2年目からは総合内科外来（週1コマ、通年）+ローテート先の専門診療科外来（週1コマ）を経験します。
- ・3年間を通じて、ER副直や日当直を担当し、内科、外科、整形外科、小児科、婦人科等の初期対応について豊富に経験することができます。
- ・米国の内科系臨床教授・准教授である「大リーガー医」から学ぶ機会があります。
- ・日本のすぐれた内科医「Jリーガー医」から学ぶ機会があります。
- ・老年医学、終末期医療、緩和医療についての教育も重視しています。
- ・感染症に強い内科医になれます。
- ・臨床研究の基本を学ぶことができます。
- ・知識、技術の習得とともに、医師としての人格、精神性の向上も重視しています。